

# 教科名( 芸術科:書道 )

鵬DP評価表(教科用)		評価基準				
	鵬DPとその定義 点 数	S(応用) 5点	A(つながり) 4点	B(考え) 2点	C(入口) 1点	合計
DP	<b>再認識力</b>	学習によって得た知識や技能を主体的に活用し、表現や鑑賞の活動に積極的に結びつけることができる。	学習によって得た知識や技能を活用し、表現や鑑賞の活動に結びつけることができる。	学習によって得た知識や技能を、表現や鑑賞の活動に結びつけることができる。	学習によって得た知識や技能を思い出すことができる。	
定義	・考えたり、振り返ったりできたり、得た知識や技能を応用できる力					
DP	<b>情報収集力</b>	教科書や資料他の複数の情報源から必要な情報を収集し、それらを整理して書道の幅広い活動に結びつけることができる。	教科書や資料他の複数の情報源から必要な情報を収集し、それらを書道の幅広い活動に結びつけることができる。	教科書や資料他の複数の情報源から情報を収集し、それらを書道の幅広い活動に結びつけることができる。	教科書や資料他の複数の情報源から情報を収集することができる。	
定義	・調べるための手段や対象を適切に設定できる力					
DP	<b>問題発見力</b>	書の上さや美しさを主体的に感受し、表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解することができる。	書の上さや美しさを感受し、表現の方法や形式、多様性などについて理解することができる。	書の上さや美しさを感受し、表現の方法や形式などについて理解することができる。	書の上さや美しさ、表現の方法や形式などについて理解することができる。	
定義	・課題を的確にとらえたり、捉えた課題から新たな視点や発見ができる力					
DP	<b>分析力</b>	複数の情報源から得た情報を整理し、主体的に自らの課題に照らし合わせ、根拠をもって批評や表現の活動に活用することができる。	複数の情報源から得た情報を整理し、自らの課題に照らし合わせ、根拠をもって批評や表現の活動に活用することができる。	複数の情報源から得た情報を、自らの課題に照らし合わせ、批評や表現の活動に活用することができる。	複数の情報源から得た情報を、自らの課題に照らし合わせることができる。	
定義	・論理的に思考できたり、データの特徴を的確にとらえることができる力					
DP	<b>共感力</b>	鑑賞活動において、他者の作品の上さや美しさを積極的に見いだしたり、他者の意見によく耳を傾け、その意見を尊重して自らの考えに結びつけることができる。	鑑賞活動において、他者の作品の上さや美しさを見いだしたり、他者の意見に耳を傾け、その意見を尊重して自らの考えに結びつけることができる。	鑑賞活動において、他者の作品の上さや美しさを見いだしたり、他者の意見に耳を傾け、自らの考えに結びつけることができる。	鑑賞活動において、他者の作品の上さや美しさを見いだしたり、他者の意見に耳を傾けることができる。	
定義	・自分の意見を主張するだけでなく他者の意見や感情を理解することができ、さらにいろいろな意見を総合してよりよいものを想像することができる力					
DP	<b>表現実行力</b>	効果的な書の表現のための方法や形式、多様性などを積極的に模索し、学習によって得た知識や技能を適切に表現に結びつけることができる。	効果的な書の表現のための方法や形式、多様性などを模索し、学習によって得た知識や技能を適切に表現に結びつけることができる。	効果的な書の表現のための方法や形式、多様性などを模索し、学習によって得た知識や技能を表現に結びつけることができる。	効果的な書の表現のための方法や形式、多様性などを模索し表現に結びつけることができる。	
定義	・物事を他者に伝えられたり、実際に行動につなげる力					